

無償で洗濯、コメ支給、試合告知…

ロアッソ 支えます!!

サポーター企業の輪広がる

今季からJリーグ2部で戦うロアッソ熊本を物品提供や無償サービスで支援するサプライヤー企業・団体の輪が広がっている。運営会社アスリートクラブ（A C）熊本によると、2日現在で15社（団体含む）。大企業だけでなく、地場企業も、コメや洗髪料の現物支給など「自分たちのできること」で県民チームを支えているのが特徴だ。

開幕直前の三月六日。熊本県中央食糧の松村賢治社長が練習場を訪れ、千百き分のコメの目録を贈った。同社は「ロアッソ米」の名で二きと五き入りの商品を販売しており、チーム発足以来のサプライヤーでもある。松村社長は「食卓にロアッソの話が上るようになれば」と期待を込めた。

時代から公式戦ユニホームの洗濯を引き受ける。クラブ経営が苦しいのは重々承知。助けになればと思った」と柳川照視社長。近所では「ロアッソにもたれたい」と言う子どもが汚れている格好悪い。心を込めて洗っています」と胸をたたく。

一方、同市水前寺の地場パンチャー「ビューフェイス」はJ入り機にサプライヤーに名乗りを上げた。下通アーケードに設置した大型液晶ビジョンで公式戦の街頭告知を行っている。前田幸寛営業部長は「うちは若い会社。ロアッソと一緒に成長していきたい」と夢を重ねる。

このほか、選手バスや営業車両、航空券の提供など移動面のサポートや公式ホームページの管理、セレモニ用花束の提供など応援スタイルはさまざま。これらの支援のおかげで年間三千万〜四千万円の経費削減にもつながっているという。A C 熊本の上保敦彦事業運営本部長は「二つ一に」

つ支えが積み重なり、上がるのができてきた。気持ち良くサポートしてもらえるようなクラブづくりをして、さらには上を目指したい」と話している。（久保田尚之）



ロアッソの発足当初から試合用ユニホームの洗濯を行っている熊本市のティールエイチ

練習を前に、サプライヤーの熊本県中央食糧の松村賢治社長（右）から「ロアッソ米」を受け取るロアッソ熊本の熊谷雅彦主将（中央左）＝水前寺競技場



ロアッソ熊本のサプライヤー

サプライヤー	支援内容
ブーマージャパン	トレーニングシューズ
ブーマーパルジャパン	ユニホーム
アンサーインターナショナル	公式ホームページの作成・管理
九州産業交通HD	移動バス
県花き協会	セレモニ用の花束
熊本日産自動車	営業・用具車両
ティールエイチ	ユニホームの洗濯
ティラ セラヴィーエ店	シャンプー・リンス
熊本県中央食糧	ロアッソ米
黒酪農業協同組合連合会	牛乳
石坂グループ	ゴミの収集・運搬
火の国ハイツ	運営サポート
熊本トヨペット	スタッフ車両
ビューフェイス	公式戦の街頭告知
日本航空	航空券の提供